

# 報 告 書

日 時	令和元年 8 月 22 日 (木) ～ 8 月 23 日 (金)
研修名	第 69 回全国高等学校 PTA 連合会大会 京都大会
参加者	杉林校長、後援会: 上田会長・金子(恵)、PTA: 木村会長・鈴木・庄司・金子(律)
報告者	金子(律) (次回運営委員会報告者: 金子)

## 報告内容

全国各地から PTA 会員や教育関係者のみなさん約 10,000 人が京都へ集い、「京都市勧業館みやこめっせ」「ロームシアター京都」にて大会が開催されました。浦和西高は、22 日の開会式等全体会と第 1 分科会、23 日は記念講演を含めた全体会に出席いたしました。

また 23 日の大会終了後、東寺に寄り、普段見学出来ない場所を特別拝観させて頂きました。

**【第 1 分科会 内容】** 基調講演とパネルディスカッション 講師: 永田和弘 氏  
テーマ <よくできる>とはどういうことか?

—大学は、自分の可能性を見つける場である

- ・大学は、先生たちから手取り足取り教えられてきた高校までの教育(学習)とは違い「自分から求めようとしなければ何も得られない」ところと意識しよう
- ・大学では「自分は何がまだわかっていないのか」を学ぶために、わからないことはとことん質問して、外部からのインプットされてくる知識と、自分の認識・感覚・蓄積された知識の量の差を詰めていこう(学問)
- ・答えが 1 つである問題は社会に存在しないので、大学で教えられたことは果して正しいのかと疑って自らの知識を深めよう
- ・失敗も、また大切な経験だと考えよう。それを挽回する機会は必ずやってくる
- ・何か選択する必要が出てきたときは、<安全なほう>より<面白いほう>を考えてみる安全なほうへ選び続けていくことは、人生を小さなものにしていくだろう
- ・大人と子どもが一緒になって考えることが大事。子どもに質問させる癖をつけよう
- ・大人は褒め上手になり、子どものモチベーションを上げよう
- ・自分の可能性を伸ばすために、これからの社会を生きていくために、すすんで自分の知識を増やし、問題が起きた時にそれを臨機応変に活用し対処できるよう積極的に考えていこう

**【基調講演 内容】** 講演者: 日本電産株式会社 代表取締役会長 永守重信 氏  
テーマ 「学校教育・家庭教育に思うこと」

◎学校教育に思うこと

- ・学生が楽しくなる授業、人間を育てる授業をしてほしい
- ・グローバルに通用する人材を育成するために会話の出来る英語教育をしてほしい

- ・職探しについて日本は一流コースへ行きたがるが、海外では自分で作り上げる起業コースに注目している。理想を持ち実現していける環境を作してほしい
- ・偏差値だけで選ぶのではなく「情熱・熱意」のある、やる気のある先生陣や学校を見て進路を決めてほしい

◎家庭教育に思うこと

- ・親もブランドに騙されないように、これから先を見極め子どもの進路を考える
- ・子どもが何をしたいのかが大事。子どもが学びたい事を知り後押しする

◎これからの教育について

- ・常に積極的な考え方と「情熱」「熱意」「執念」「理想」「実現」を大切にし夢は実現する！という信じる力が持てるような教育をしてほしい
- ・「専門知識」「英語教育」「人間力(礼儀)」に力を入れグローバルに通用する人材を育ててほしい

【感想】

第1分科会では、自分は何が分からないのか、何を知りたいのかを知り、能動的に学ぶことで「知の体力」に目覚めることを知りました。

そして、これからの社会を生きていくためにも、その得た知識を臨機応変に活用し発揮していかなければならないと考えさせられました。

2日目の基調講演では、これからの社会では学歴や性別を問わず、世界に通用するグローバルな人が求められている。それには専門知識・会話の出来る英語教育・礼儀のある人間力が欠かせないこと。また、情熱や熱意を持って夢への実現に理想を持たせ、前向きな積極的な考え方をさせる育て方が重要だとも教えて頂きました。

来年は島根大会です。どんな出会いがあるのか、こちらも楽しみです。

会場にて



東寺

